

視聴覚いしかわ

発行／石川県視聴覚教育協議会
 編集／石川県立生涯学習センター学習情報グループ
 発行人／会長 梶本 逸子
 平成22年3月6日 発行

金沢市広坂2丁目1-1 石川県広坂庁舎 石川県立生涯学習センター内 TEL 076-223-9574 FAX 076-223-9585



視聴覚教育の推進に向けて

石川県視聴覚教育協議会 会長 梶本 逸子
 (石川県立生涯学習センター館長)

今日、テレビ放送をはじめ、映像に関する技術は大きな変化を遂げようとしています。来年7月に迫った地上アナログ放送のデジタル放送への完全移行に向け、1月には珠洲市と能登町の一部でリハーサル実験が行われました。また、今年は3D元年とも言われ、臨場感ある立体映像が楽しめる3D対応テレビの家庭への導入も始まろうとしています。一方、個人が映像を取り扱う技術においては、コンピュータやデジタルビデオカメラなど映像機器の進歩と普及により、私達は以前に比べると手軽に高画質の映像を記録し、さらに加工や編集を行うことができるようになりました。また、視聴覚教育と深い関わりを持つ情報通信技術においても、インターネットや携帯電話に見られるように、通信の高速化が進み、ネットワークによる動画配信など様々な情報提供サービスが行われるようになりました。

今後の視聴覚教育を考えると、これらの技術革新をどのように学びの場で活用し、生涯学習の可能性を拡大できるかが、大きな課題のひとつではないかと思えます。

私は、この課題を解決するには、これまでの視聴覚教育の歴史と果たしてきた役割を、今一度振り返り、その上に立って考えてみるのが大切なのではないかと考えています。具体的なひとつの例として、当センターの視聴覚ライブラリーは1,500本以上の16ミリフィルムを所蔵していますが、以前には、県内各地で盛んに社会教育映画の上映会が実施され、ライブラリーから数多くのフィルムが公民館や学校などの生涯学習施設に貸し出されていた時代がありました。ひとつのスクリーンの映像を地域の多くの方々にご鑑賞いただき、それぞれの心に思いや感動を残し、上映会に参加された方々に共有されることにより、映画という映像が社会教育活動のひとつとして確かな役割を果たしていたのではないかと思います。

このような映像の持つ力は、これからの生涯学習の場でも積極的に活かすことが大切であると思えます。今日では、個人やグループのレベルで映像作品を制作し、作品を広く発信する手だてもある時代となりました。映像によって、地域の自然や貴重な伝統行事や文化を記録し、その魅力を人に伝えられることはもとより、さらには、地域の抱える課題を共有し、課題を解決するための人づくり、地域づくりでの映像の活用など、生涯学習における視聴覚教育の果たすべき役割には大きなものがあると思えます。

県視聴覚教育協議会としても、生涯学習社会の実現を目指し、市町との連携・協力を深め、技術革新によって拓かれる新たな可能性を見据えながら、視聴覚教育のより一層の推進に向けて努力してまいりたいと思えます。



『講習会開催!』

能美市教育委員会生涯学習課



パソコンやインターネットが普及するにつれて、コンピュータの利用は大変身近になりました。それと同時に、コンピュータを使える能力が目目されるようになってきています。能美市では、子どもからお年寄りにまでコンピュータの利用が家庭に普及されるように、「パソコン入門」、「ワード操作」、「エクセル操作」の3講座を開催いたしました。

パソコン入門では、普段パソコンを利用していない方、パソコンをこれから始める方を対象に、パソコンに触れる機会を提供し、初歩・基本的なパソコン操作技術の習得を目指しました。ワード操作、エクセル操作では、パソコンを利用したことのある初級者を対象に、実用的なワープロソフト、表計算ソフトの基本的な利用の復習とより実用的な技能の習得を目指しました。

パソコン入門では、四苦八苦しながら文字を打ち込んでいる姿や、初めてインターネットを利用しその情報量に驚いている姿などが見られました。ワード操作やエクセル操作では、パソコンを利用した年賀はがきづくりに意欲を見せる参加者の姿などが見られました。

「放送の完全デジタル化と変わりゆくテレビ」

総務省北陸総合通信局情報通信部放送課

課長補佐 石原 章和

総務省では、平成 23 年 7 月 24 日の地上アナログ放送終了、地上デジタル放送（地デジ）への完全移行に向けて、国をあげて取り組む必要があることから、国民のみならず、関係機関が一体となってイベントや説明会等種々の取り組みによる周知啓発等を実施し、早期に地デジ移行への促進が図られるよう努めています。

- 1 地デジの意義** ⇒① 電波利用の逼迫の解消（テレビ放送用電波が約 2 / 3 に縮小） ② 地デジ移行で空いた電波を需要増分野に再配分及び新サービスに配分 ③ テレビが ICT 端末として利用できる。
- 2 地デジのメリット** ⇒① 大画面テレビできれいな画像の視聴ができる ② データ放送でニュース、天気予報などをリアルタイムで入手できる ③ 携帯端末で移動中でも「ワンセグ放送」の視聴ができる。
- 3 地デジの受信（視聴）方法** ⇒① 各家庭での直接受信 ② 辺地共聴施設での視聴 ③ ビル陰対策共聴施設での視聴 ④ 集合住宅共聴施設での視聴 ⑤ ケーブルテレビ加入での視聴
※地上デジタル放送は UHF 電波で放送されており、各家庭での基本的な受信には「UHF アンテナ」+「デジタルテレビ」又は「UHF アンテナ」+「デジタルチューナー」+「アナログテレビ」が必要となります。
※その他共聴施設により視聴されている方は、お早めに当該共聴施設の管理者等にご確認、ご相談をお願いします。
- 4 悪質商法等にご用心** ⇒全国でテレビのデジタル化工事を装った詐欺が発生しており、不審な電話や訪問があった場合は総務省北陸総合通信局、最寄の警察署、消費生活センター等までご相談ください。
- 5 地デジに関するお問い合わせ先** ⇒ 一般的なお問い合わせは「総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」0570-07-0101（ナビダイヤル）までお願いします。

最後に、皆様には「地デジの準備はお早めに」とお願いするとともに、地上アナログ放送終了時に地デジが視聴できない方が発生しないよう引き続き地デジ移行対策の取り組みの強化を図っていきます。

生涯学習センターの視聴覚関連事業から

1 はじめに

生涯学習センターの事業から、映像に関する事業の一部を紹介します。

2 シネマアフタヌーン

当センターでは 16 ミリフィルムを 1,500 本余り保有しており、貸出の他に所蔵フィルムを活用した上映会を、子どもを対象とした夏休みと生涯学習センターフェスタ期間中に開催しました。平成 18 年度からは「シネマ・アフタヌーン」として所蔵の映画フィルムで、年回 7 回程度上映会を当センターで実施しています。大型液晶テレビが普及しつつあるとはいえ、スクリーンに映し出される懐かしの映像に、参加者は毎回楽しんでいました。

3 石川の記録映画上映会

当センターが所蔵している 16 ミリフィルムの中から、本県の伝統行事や文化が撮影されたフィルムの上映会を行いました。上映作品は、生涯学習センターの前身である県立社会教育センターが制作した「能登上布」「加賀蒔絵」、白山自然保護センター制作の「山に生きる」です。貴重な記録フィルムを県民の方々にご覧いただく機会として、今後も継続する予定です。

4 16 ミリ発声映写機操作技術認定講習会

今年度、現在までのところ、18 人の方が講習を受講し 16 ミリ発声映写機の操作技術認定を受けられました。16 ミリフィルムは古い映像媒体ではありますが、公民館や児童館の職員の方々を中心に受講者は徐々に増加しています。一定のニーズがあることから、講習会は引き続き継続する予定です。

5 最後に

16 ミリフィルムの活用に関する講座を紹介しましたが、今後、より多くの県民の方々に活用していただくため、館外での上映会や、著作権上可能なフィルムのデジタル化について検討を進めたいと考えています。

平成 21 年 6 月 18 日(木)、石川県立生涯学習センターにおいて、平成 21 年度理事会及び総会が行われた。(出席市町 11)
 総会では、議長に輪島市立図書館長 上野寛美氏を選出し、議案審議を行い、平成 20 年度事業・決算報告並びに 21 年度事業・予算について可決承認された。

なお、総会終了後、記念講演として「放送の完全デジタル化と変わりゆくテレビ」と題し、総務省北陸総合通信局情報通信部放送課課長補佐 石原章和氏に御講演いただいた。

平成 21 年度 役員一覧

会 長	梶本 逸子	生涯学習センター館長	理 事	村田佳津男	県教委・生涯学習課	
副会長	三浦 光雄	七尾市教育長	監 事	西島 光紀	津幡町・能登	
参 与	土室 完	県教委・生涯学習課長	〃	澤田 憲司	白山市・加賀	
理 事	上野 寛美	輪島市				
〃	谷 秀一郎	中能登町	事務局	事務局長	橋場 真一	生学セ・学習情報グループリーダー
〃	毛利 達彦	金沢市		事務局員	近田 幸男	生学セ・学習情報グループ
〃	山川 芳明	小松市		〃	徳野 章人	〃

平成 21 年度 事業報告

1 情報技術活用研修会

主体名	研 修 会 名	開 催 日	場 所	参加人数
金沢市	コンピュータースキルアップセミナー	平成21年6月20日～平成21年9月12日	金沢市教育プラザ富樫	164人
能美市	平成 21 年度能美市 IT 講習会	平成21年10月6日～平成21年12月17日	能美市立辰口図書館	285人

2 映像メディア活用講習会

主体名	研 修 会 名	開 催 日	場 所	参加人数
石川県	ビデオ作品制作講座	平成22年1月16日～平成22年1月24日	石川県立生涯学習センター	9人

3 視聴覚教育指導者講習会「現代的課題対応講座」

(第 1 回) 演題「パワーポイントを使ってのプレゼンテーション」(パワーポイント入門)

平成 21 年 6 月 22 日(月)・23 日(火) 32 名参加 会場：石川県立生涯学習センター

講師：Office アシスタ 山川広美氏

(第 2 回) 演題：「映像作品制作と地域からの情報発信のすすめ」(いしかわビデオ作品コンクール発表会記念講演)

平成 22 年 3 月 6 日(土) 場所：石川県立生涯学習センター

講師：NHK 金沢放送局チーフカメラマン 宮津寿人氏

第13回視聴覚教育総合全国大会・第60回放送教育研究会全国大会合同大会(愛知大会)に参加して

県立生涯学習センター 学習情報グループ 徳野 章 人

昨年度に引き続き、視聴覚教育総合全国大会と放送教育研究会全国大会との合同大会が、10月27日(火)と28日(水)の2日間にわたり、「ネットワーク社会における豊かな学びとメディア」をテーマに愛知県岡崎市を中心に開催されました。

第1日目は、社会教育分科会の岡崎市視聴覚ライブラリーによる「情報発信拠点としてのライブラリー運営」と題した発表に参加しました。

発表では、視聴覚ライブラリーが衰退している中で、貸出業務を受け身として待つよりも、地域をとらえた自作教材による情報コンテンツの発信、地域に出向いた主催事業の実施など、「より能動的に活動すること」が重要であるとの指摘がありました。

2日日も社会教育研究分科会で、富山県民生涯学習カレッジ・富山県映像センターによる「自作地域映像コンテンツのネット配信と視聴覚センター・ライブラリーの役割」と題した発表に参加しました。とやまデジタル映像ライブラリーは、1998～2002年に通信放送機構、富山県、富山大学等が共同プロジェクトとして開発し、2003年から県民カレッジで本格運用され、富山の自然、歴史、各種行事などをデータベースとして蓄積しているとのことでした。発表の最後に、「確かな技術と富山への思いをこめた映像作品を通して、映像センターが、より良い情報発信であることをアピールしたい。魅力無い所へは撮影に行かない、同じように魅力のない「センター」には、人は集まらない。」との指摘がありました。

平成 21 年度 (第 40 回) いしかわビデオ作品コンクール

今年度、応募期間を平成 21 年 12 月 1 日 (火) ~平成 22 年 2 月 5 日 (金) とし、昨年同様、①学校教育・社会教育部門、②生徒・学生・一般県民の 2 部門で募集を行いました。

なお、コンクールは石川県教育委員会の共催とし、また、石川県小・中学校視聴覚協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会の後援を得て行いました。

応募は、①学校教育・社会教育部門 5 点、②生徒・学生・一般部門 21 点の計 26 点の応募がありました。

審査講評

2月17日に県立生涯学習センター内でビデオ作品の審査を行いました。今年は例年になく生徒・学生・一般部門に多くの出展があり、その内容も身近な風景であったり、歴史を巡る旅であったり、微笑ましい動物の親子であったりと千差万別で、見る側の目を楽しませてくれる映像でした。また、学校教育・社会教育部門では映し出される映像の表現に指導する先生の意欲と、思いの伝わる作品を感じとることができました。結びに両部門とも、表現技術、アイデア、着眼点とどれをとっても高いレベルであったことをお伝えして講評とします。(審査員長 棒田 邦夫)

審査員

審査員長	棒田 邦夫	金沢学院大学教授
審査員	勝田 敏夫	メディアアドバイザー
〃	村田佳津男	県教委生涯学習課
〃	梶本 逸子	県立生涯学習センター館長

審査結果

①学校教育・社会教育部門		
最優秀賞 (石川県教育委員会賞)	公民館の難聴者対策	(金沢市)城南公民館
優秀賞 (石川県社会教育協会賞)	早寝早起き朝ごはん	小松市立国府中学校保健委員会
奨励賞	ガガブタ育み隊員の記録	(坂井市)西田 弘之
〃	世界とつながろう	(金沢市)今井由美子
〃	変化と動きのおもしろさ	小松市立芦城中学校美術部
第40回記念特別賞	(金沢市)城南公民館	
②生徒・学生・一般部門		
最優秀賞 (石川県教育委員会賞)	「坂道の風景」小立野編	(金沢市)森本 重雄
優秀賞 (石川県公民館連合会賞)	光の祈り 万燈会	(金沢市)高島 良夫
奨励賞	カルガモの親子	(金沢市)森 清
〃	残したい門前町井波	(金沢市)小屋 忠男
〃	本興寺に今年も咲きました	(金沢市)小倉 健治
第40回記念特別賞	(金沢市)高島 良夫	

視聴覚ライブラリー ~県立生涯学習センターからのお知らせ~

視聴コーナーの2ブースのテレビが、ワイド画面の液晶テレビに更新され、4ブース全てが、液晶テレビとなりました。これまで以上に視聴コーナーをご利用いただくと幸いです。

また、今年度は DVD を中心に視聴覚教材を導入いたしました。現在、所蔵する DVD はようやく 350 枚を超えるまでになりました。今後も、皆様の声を聞きながら教材の充実を図っていきたく思っております。

また、県民大学校放送利用講座のひとつであり、平成2年度からテレビ金沢で制作・放送されている「いしかわ大百科」は、収録ビデオ・DVD の蓄積が約 300 本 (枚) となりました。県内各地の伝統行事や伝統産業、食文化など様々な観点から、本県について映像によって学ぶことができる教材として充実したものとなっています。県内各地でふるさと検定が実施されている中、県民の皆様によりご活用いただくため、目録「いしかわ大百科シリーズ」を発行し、関係機関に配布する予定です。当センター視聴覚ライブラリーにも設置いたしますので、是非、ご利用ください。



編集後記

暖冬と言われながら雪の日も多かった冬でしたが、ようやく暖かい日も続くようになりました。「視聴覚いしかわ」第 6 号発行にあたり、ご寄稿いただきました能美市生涯学習課様、総務省北陸総合通信局情報通信放送課課長補佐石原章和様には深く感謝申し上げます。

さて、地デジの話題が多かった中、最近では 3D テレビも大きな関心が寄せられています。「視聴覚いしかわ」でも新しい話題を取り入れた充実した誌面になるよう、努力したいと思っています。(学習情報グループ 徳野 記)